

観点	番号	項目内容	小・低学年	小・中学年	小・高学年	中学校
情報活用の実践力	1	インタビュー	インタビューカードを用いて、簡単なインタビューをすることができる。	インタビューの手引を用いて、基本的なインタビューをすることができる。	基本的なインタビューの仕方を身に付け、必要な情報を収集することができる。	効果的なインタビューをし、必要な情報を収集することができる。
	2	図書や新聞などによる情報収集		教科書や副読本など具体的資料を活用して、身近な情報を集めることができる。	教科書や資料集、統計など各種の基礎的な資料を活用して情報を集めることができる。	教科書や資料集、図書室の本(図鑑や事典を含む。)、新聞等、多くの情報手段を活用して情報を集めることができる。
	3	Web検索		教師が準備したリンク集等を用いて、簡単な情報を調べることができる。	児童用の検索エンジンを用いて、指定されたキーワードで検索することができる。	複数の検索エンジンを用いて、キーワードを自分で考えて、検索することができる。
	4	撮影と画像の加工	デジタルカメラを用いて、目的に合った写真を撮影することができる。	デジタルカメラの画像をコンピュータに取り込み、印刷することができる。	デジタルカメラの画像をコンピュータに取り込み、他のソフトで活用することができる。	画像(静止画)をコンピュータに取り込み、加工・編集することができる。
	5	マウスやキーボードの操作	マウスを用いて、簡単な絵をかくことができる。	キーボードから、かな入力やローマ字入力で簡単な単語を入力することができる。	キーボードから、かな入力やローマ字入力で簡単な文章を入力することができる。	キーボードから、かな入力やローマ字入力で作文やレポートを書くことができる。
	6	コンピュータによるグラフ作成				コンピュータを活用して、集めた情報を適切な表やグラフにまとめることができる。
	7	Webページ作成			ホームページ作成ソフトを活用して、簡単なWebページ(文字・絵・リンク等)を作成することができる。	ホームページ作成ソフトを活用して、デザイン等を考えながら基本的なWebページを作成することができる。
	8	資料の作成と発表	調べたことを絵や簡単な文章で表すことができる。	簡単な発表資料を広幅用紙やTPなどで作成し、発表することができる。	コンピュータを活用して簡単な発表資料を作成し、発表することができる。	コンピュータを活用して、相手に分かりやすい表現で発表することができる。
	9	電子メールの操作			手引を用いて、電子メールの送受信をすることができる。	電子メールの送受信をすることができる。
情報の科学的な理解	1	ソフトウェアの種類と特性			目的に応じて、様々なソフトがあることが分かる。	ソフトの基本的な機能を理解し、課題に応じて適切なソフトを選択することができる。
	2	周辺装置				周辺装置の種類と機能を説明することができる。
	3	インターネット			インターネットでできることを簡単に説明することができる。	インターネットの特徴や仕組みを説明することができる。
	4	問題解決の手順			問題解決の見通しを説明することができる。	問題解決の手順の要点を説明することができる。
	5	コンピュータ活用			課題を解決する際に、課題に応じてコンピュータの活用が有効であることを実感することができる。	コンピュータを用いることの長所・短所を具体的に述べるができる。
	6	マルチメディア				マルチメディアの特徴と活用方法が分かる。
	7	コンピュータの特性と仕組み				コンピュータの主要構成要素(入力,記憶,制御,演算,出力)について、それぞれの役割を簡単に説明することができる。
	8	ハードウェア・ソフトウェア				ハードウェアとソフトウェアの違いを説明することができる。
	9	コンピュータによる情報伝達			情報伝達手段としての電子メールの特徴が分かる。	情報伝達手段の特徴が分かる。
	10	情報の表現方法		情報の表現方法としての表や棒グラフ、折れ線グラフの特徴が分かる。	情報の表現方法としての円グラフや帯グラフの特徴が分かる。	情報の表現方法としての一次関数、二次関数のグラフの特徴が分かる。
情報社会に参画する態度	1	情報発信			相手の気持ちを考えて、情報を発信しようとする。	自分の発信した情報を見直し、より分かりやすい情報を発信しようとする。
	2	個人情報の保護	知らない人から友達の名前や電話番号を聞かれても教えないようにする。	名前や電話番号を悪用した犯罪があることを理解し、それらの個人情報を保護しようとする。	簡単な個人情報の例を挙げ、保護しようとする。	個人情報に配慮して、情報を発信しようとする。
	3	情報の真偽の判断			受けとった情報が正しい情報かどうかを意識しながら、情報を収集しようとする。	情報の真偽を確かめながら、情報を収集したり、発信したりしようとする。
	4	コンピュータ犯罪			コンピュータや携帯電話を介した犯罪があることを理解することができる。	コンピュータや携帯電話を介した犯罪があることを理解し、適切に対応しようとする。
	5	情報モラル			情報モラルに反した行為や内容を判断することができる。	情報モラルに反する情報に対し、簡単な対応の仕方が分かる。
					著作権・肖像権の存在を知り、著作者等の権利を尊重しようとする。	著作権・肖像権の意味を知り、その権利に気を付けながら情報を加工しようとする。